

「奈良公園基本戦略」の概要

検討資料

平成23年12月

奈良県まちづくり推進局奈良公園室

奈良公園の価値

- 奈良公園には数多くの資源が存在し、大いに魅力を発揮している。
- 奈良公園は立派な公園であり、国内外から年間1,000万人以上の来訪者が訪れる日本を代表する観光地である。

◆ 奈良公園の資源として次のようなものが存在する。

自然資源

自然環境を構成するもの

- ①特別天然記念物：
春日山原始林（世界遺産）
- ②天然記念物：
奈良のシカ、ルミスジミ棲息地、春日大社ナギ樹林、
知足院ナラノヤエサクラ
- ③その他：
奈良公園周辺の眺望
若草山
片岡梅林
巨樹、名木（良弁杉、衣掛柳 など）
春日山、手向山
吉城川、率川
松（日本の名松100選）、桜（日本さくら名所100選）、
杉、楓、もみじ など
参道、堀（東大寺参道、春日大寺参道） など

歴史・文化資源

歴史・文化的背景をもつ建造物、美術工芸品、遺構、行催事等

- ①国宝（建造物）：
東大寺金堂（大仏殿）、興福寺五重塔、春日大社本社
正倉院正倉、新薬師寺本堂、元興寺極楽坊本堂 など 全19件
- ②重要文化財（建造物）：
旧春日大社板倉（円窓亭）、旧帝国奈良博物館（なら仏像館）
旧奈良県物産陳列所（仏教美術資料研究センター） など 全28件
- ③国宝・重要文化財（美術・工芸品）：
銅造盧舎那仏（東大寺大仏）、
乾漆十大弟子立像（興福寺阿修羅像） など 全374件
- ④史跡、名勝：
史跡東大寺旧境内、史跡春日大社境内、史跡興福寺旧境内、
史跡鶯塚古墳 など 全11件
名勝奈良公園、名勝依水園、名勝旧大乗院庭園 全3件
- ⑤遺構：
東大寺講堂跡、東塔跡、西塔跡、興福寺金堂跡、南大門跡 など
- ⑥世界遺産：
東大寺、興福寺、春日大社
- ⑦伝統的行催事：
重要無形民俗文化財：春日若宮おん祭りの神事芸能 全1件
その他：東大寺二月堂修二会、采女祭、若草山焼き、
春日大社万燈籠、東大寺万灯供養会、
鹿の角切り、鹿寄せ、薪能、芝能 など
- ⑧文化施設（展示・催しを含む）：
奈良国立博物館（新館）、寧楽美術館、奈良市写真美術館
春日大社宝物館、興福寺国宝館、東大寺総合文化センター など

公園資源

公園利用に資するもの

- ①池：
猿沢池、鸞池、荒池、みどり池、三社池、東大寺鏡池、
大仏池、氷室神社鏡池
- ②文化施設：
吉城園（主棟・庭園）、旧世尊院、旧志賀直哉邸、入江泰吉旧居
- ③園地：
登大路園地、春日野園地、浮雲園地、みどり池園地 など
- ④公園施設など：
浮見堂、五十二段
新公会堂（コンベンション施設、レストラン、庭園）、
シルクロード交流館（レストラン）、国際奈良学セミナーハウス
文化会館、美術館、県庁舎、鹿苑
公園内便益施設（四季亭、クィーンアリスなど） など
- ⑤行催事・イベント
なら燈花会、なら瑠璃絵 など
- ⑥休養施設：
トイレ、四阿、休憩所、ベンチ など
- ⑦その他：
県庁屋上からの眺望
園路、公園内遊歩道、春日山ドライブウェイ
観光案内所、観光案内版
ライトアップ施設、夜間照明
駐車場、公園内移動施設（ぐるっとバス）
古都買入地 など

奈良公園の現状と課題

- ナンキンハゼ等の外来種の進入による春日山原始林の荒廃
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加や農産物の被害
- 鷺池、大仏池など景観を構成する池の土砂堆積・水質悪化
- 吉城園主棟、旧世尊院など県有建築物の老朽化・低未利用
- 浮見堂、五十二段など公園施設の老朽化
- 奈良公園周辺における樹木の生長による眺望の阻害
- 伝統的行催事の維持・継承
- 観光オフシーズンにおける来訪者の減少
- 若草山の入山者数の減少
- 宿泊施設数や宿泊稼働率の低迷
- 公園内の空き店舗の増加など来訪者へのサービスの低下
- 県庁舎など観光交流拠点における魅力不足
- 鹿苑の老朽化
- 古都買入地の低未利用
- 新公会堂の不十分なコンベンション機能
- トイレ、ベンチ等の不足、老朽化による周遊環境の不備
- 自動車と歩行者の動線の交錯
- 照明の不足による危険な夜間利用
- 移動手段の不足による高齢者等の移動困難
- 観光バスなどによる交通渋滞
- 情報発信・情報提供の不足
- 統一した観光案内サインの不足

- 奈良公園は既に立派な公園であり、立派な資源が存在しているにも関わらず、その資源の価値の「維持」や、「利活用」が、不十分である。
- 具体的には、自然資源では特別天然記念物「春日山原始林」の荒廃、歴史・文化資源では伝統的行催事の維持、公園資源では鹿苑の老朽化など様々な課題があり、このままでは立派な資源の価値が失われていくことが危惧される状況である。

奈良公園基本戦略の基本方針

目的

奈良公園に存在する資源を積極的に「維持」「利活用」し、奈良公園の抱える課題を解決することにより、奈良公園を名実とも「世界に誇れる公園」にしていくことを目指して、考え方を整理するものである。

基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の魅力を積極的に維持し、更なる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維持

① 魅力を守る

利活用

② 魅力を活かす

取組体制

③ 県が主体的に取り組む

○ 対象エリア

奈良公園周辺一帯（右図参照）

JR奈良駅から東側で、南は高畑町と奈良町を含み、北側は東大寺転轄門（正倉院西側）付近まで



■ 目標

◆ 維持

- ・ 春日山原始林の植生の適切な管理
- ・ 「奈良のシカ」の適切な保護育成と管理
- ・ 伝統的行催事の維持・継承
- ・ 吉城園主棟など県有建築物や公園施設の適切な維持管理

◆ 利活用

- ・ 来訪者数の底上げおよび観光オフシーズンの解消
- ・ 伸び悩んでいる宿泊客数の底上げや既存の宿泊施設の稼働率向上、更なる宿泊施設数の充実
- ・ 観光地としての来訪者への「サービス」の向上
- ・ 低未利用地や県有施設などの有効活用と適切な維持管理
- ・ 既存ストックを活用した魅力あるコンベンション機能の充実・強化
- ・ 安全安心な移動周遊環境の整備
- ・ 奈良公園全体の魅力を伝えるための情報発信・提供

◆ 取組体制

- ・ 奈良公園を垣根なく周遊するための社寺等関係者との更なる連携強化

基本方針の実現に向けた施策・事業

◆ 維持

◇ 自然資源の保存

- 春日山原始林の再生、奈良のシカの適切な保護・育成
- 奈良公園の植栽計画の策定

◇ 歴史・文化資源の保存

- 若草山焼きの実施、奈良公園の行催事への支援

◇ 公園資源の保存

- 吉城園主棟の改修、公園施設等の適切な維持管理
- 植生植栽の適切な維持管理
- 古都法に基づく土地の買入れ
- 文化財保護法、古都法等に基づく許認可申請

◆ 利活用

◇ 移動の円滑化

- 歩道整備、管理事務所移転
- 周遊バスの導入、若草山など移動支援機能の導入
- 登大路Tの整備、大仏前P予約システムの導入、行基広場屋根整備
- 案内サイン整備
- パークアンドバスライドの実施、公園道の一方通行化
- 公共交通機関利用促進

◇ にぎわいづくり

- 吉城園周辺地区の整備
- 飛火野周辺地区の整備
- 高畑町周辺地区の整備
- 奈良公園のあかりを用いた誘客イベント
- 若草山にぎわいイベント、奈良らしい誘客イベント(ドイツ音楽祭など)
- イベント支援施設の整備

◇ コンベンションによる振興

- 新公会堂周辺地区の整備

◇ 施設的环境整備

- トイレの整備
- 照明施設の整備
- 県庁舎等の観光拠点整備

◇ 来訪者の満足度の向上

- 社寺と連携した滞在型観光商品の企画・造成
- 鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のお土産企画
- 飲食・物販施設の使用許可の見直し

◇ 情報発信と享受

- 修学旅行生の誘致、奈良公園の解説の充実
- 情報発信・共有システム構築、県外キャンペーン

◆ 取組体制

◇ 関係者の総力の結集

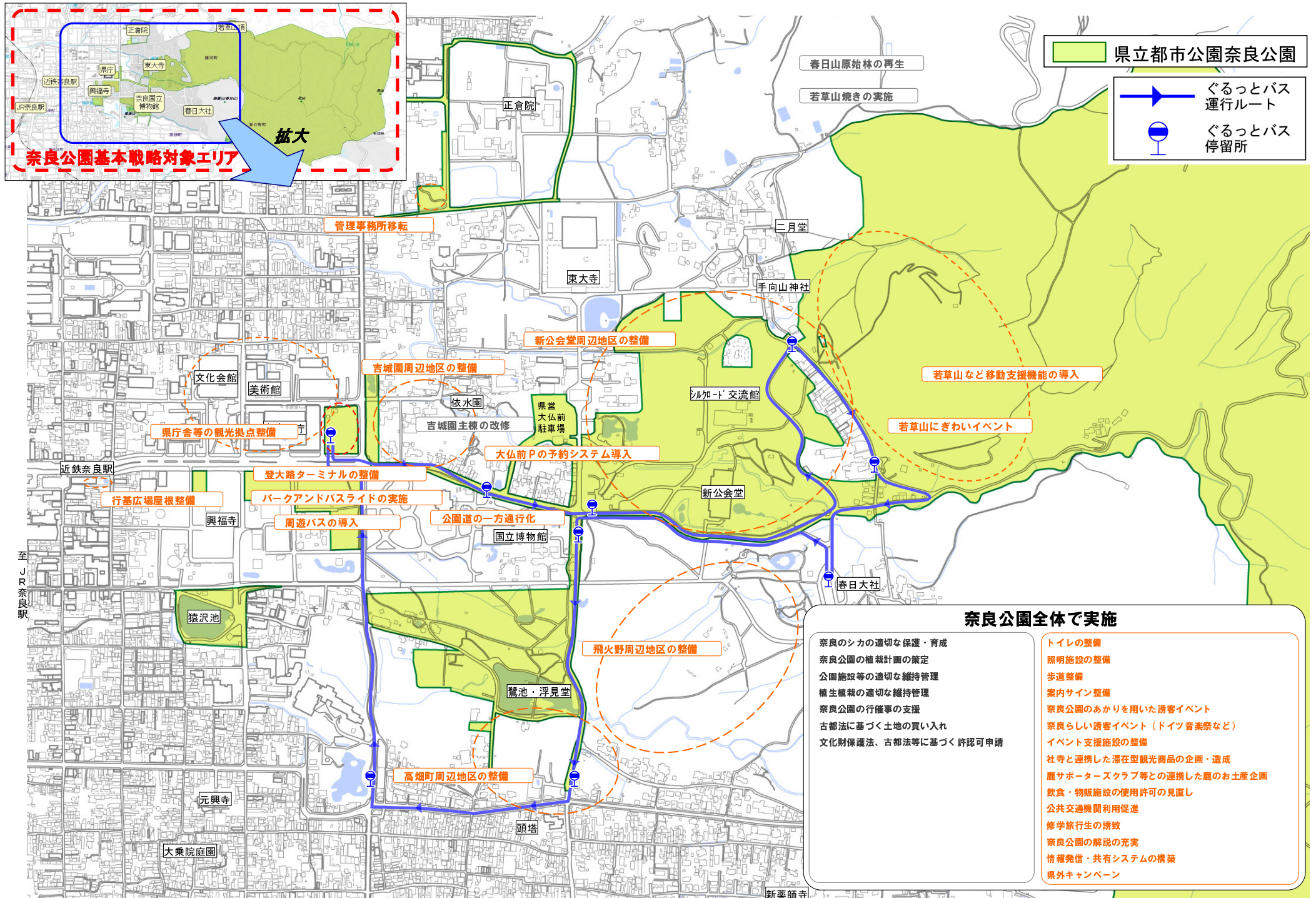
- 社寺等との連携
- 民間・NPO、関係行政機関との連携



◇ 施策の推進

- 県民や来訪者等への意見聴取
- PDCAサイクルの確実な実施

施策・事業を実施する箇所 (位置図)



奈良公園の施策・事業の体系図

